

令和5年度

# 決算の概要

令和5年度組合決算について、去る6月28日に開催された組合会において承認されましたので、その概要をお知らせします。



富岡理事長(朝霞市長)

## 統括事項

### 1. 令和5年度末現在の市町村数

区分	令和5年度
市	40
町	22
村	1
一部事務組合等	50
計	113



### 2. 組合員数等の状況

(令和5年度末現在)

種別	組合員数	被扶養者数	区分	標準報酬の月額	平均標準報酬月額	標準期末手当等年度累計額
一般組合員	52,087人	36,909人	長期	20,369,912,000円	391,074円	79,873,964,000円
			短期	20,654,672,000円	396,541円	80,153,840,000円
短期組合員	15,101人	2,950人	短期	2,525,186,000円	167,219円	5,372,715,000円
市町村長組合員	56人	47人	長期	35,890,000円	640,892円	161,601,000円
			短期	47,820,000円	853,928円	241,489,000円
特定消防組合員	7,720人	10,956人	長期	3,190,772,000円	413,312円	12,254,356,000円
			短期	3,191,552,000円	413,413円	12,254,356,000円
長期組合員	12人	-	長期	5,400,000円	450,000円	22,968,000円
			短期	6,070,000円	505,833円	26,560,000円
後期高齢者等短期組合員	93人	-	短期	13,142,000円	141,311円	25,374,000円
市町村長長期組合員	6人	-	長期	3,600,000円	600,000円	16,577,000円
			短期	4,140,000円	690,000円	21,048,000円
継続長期組合員	2人	-	長期	830,000円	415,000円	3,718,000円
小計	75,077人	50,862人	長期	23,606,404,000円	314,429円	92,333,184,000円
			短期	26,442,582,000円	352,215円	98,095,382,000円
任意継続組合員	1,192人	679人	短期	360,568,000円	302,489円	
合計	76,269人	51,541人	長期	23,606,404,000円	394,208円	92,333,184,000円
			短期	26,803,150,000円	351,438円	98,095,382,000円
対前年比	1,335人	△326人				

※一般組合員には特別職も含まれます。

## 短期経理

医療費を中心とし、他に出産費、埋葬料、休業給付及び災害給付などを行う経理です。また、この経理で介護保険料の受け入れ、納付を行っています。

- 医療給付 / 196億7,059万円 (前年度比 約24.56% 増)
- 組合員1人当たり / 258,000円 共済組合から医療機関へ支払った1人当たりの医療費です。

## 短期分

### 【収支の状況】

収入につきましては、掛金・負担金の財源率を据え置き運営したところ、455億6,805万円となり、組合員数の増加及び給与改定等により前年度に対して78億2,485万円の増加となりました。

一方支出については、65億6,232万円増加し、458億9,796万円となっております。

### 【高齢者医療制度への納付金等の状況】

今年度の高齢者医療に係る納付金等については、146億7,198万円となっております。

この金額は、支出全体の31.32%を占める状況となっております。

### 【当期短期損失金】

収支決算を行った結果、1億1,629万円の当期短期損失金が生じました。この損失金については前年度より、繰越しました短期積立金を取り崩して補てんいたしました。

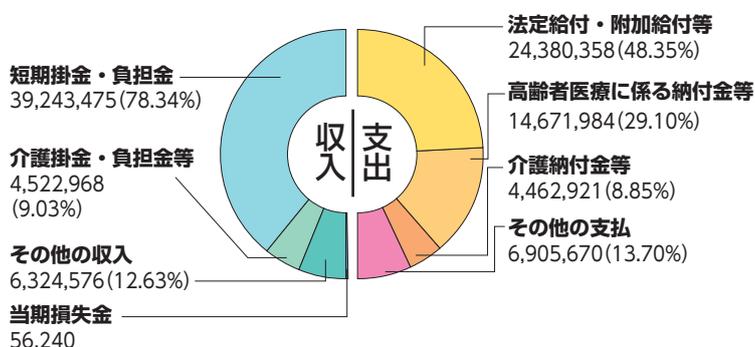
### 【利益剰余金の状況】

欠損金補てん積立金を法定所要額である17億8,610万円を積立て、また、上記当期短期損失金を短期積立金を取り崩して補てんした結果、令和5年度末における短期積立金は45億1,361万円となりました。その結果短期分に係る利益剰余金の合計は62億9,972万円となります。

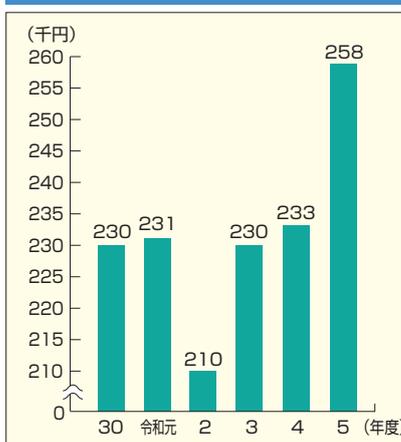
短期経理収支状況

収入総額 50,091,019	支出総額 50,420,933
-----------------	-----------------

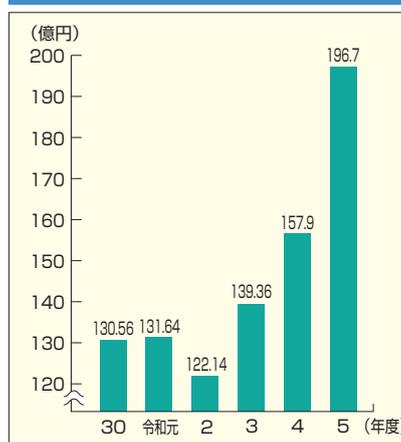
単位：千円



組合員1人当たりの医療費の推移



医療費の推移



## 介護分

### 【収支の状況】

収入総額は、45億2,297万円で前年に対して2億9,407万円の増収となっております。一方、支出総額は、44億6,292万円で主に介護納付金として社会保険診療報酬支払基金へ納付しております。

### 【当期介護利益金】

収支決算を行った結果、6,005万円の当期介護利益金が生じたので、前年度より繰越した介護欠損金に充当し、令和5年度介護積立金は223万円となります。

## 厚生年金保険経理

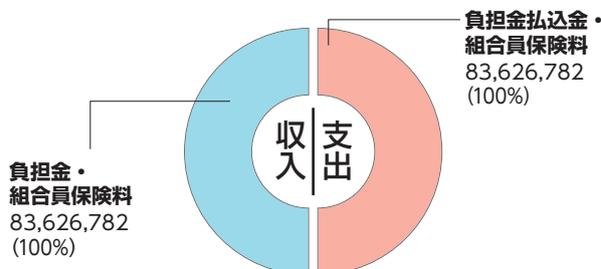
厚生年金の組合員保険料・負担金を収納し、全国市町村職員共済組合連合会（以下、連合会とする。）へ払い込む経理です。

被用者年金一元化後の厚生年金給付に係る経理となります。

厚生年金の財源率は厚生年金保険料と同率に統一されました。その財源率で徴収した組合員保険料と所属所負担金と基礎年金拠出金に係る負担金36%と追加費用として11%で徴収した負担金もこちらの経理で徴収し、総額836億円程の全額を連合会へ払い込んでおります。

厚生年金保険経理収支状況	
収入総額 83,626,782	支出総額 83,626,782

単位：千円



## 退職等年金経理

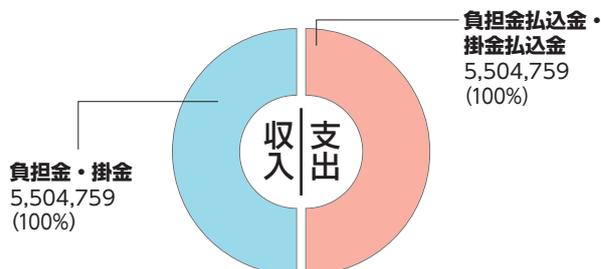
「退職等年金給付」の支払いのため掛金・負担金を収納し、連合会へ払い込む経理です。

被用者年金一元化により廃止された職域相当部分にかわり新設された「退職等年金給付」を支払う経理です。平成27年10月以降発生している公務上の障害・遺族の年金給付は、こちらの経理での取り扱いとなっております。

掛金・負担金率の7.5%は連合会で示された上限値となり、その率で徴収された55億400万円程の全額を連合会へ払い込んでおります。

退職等年金経理収支状況	
収入総額 5,504,759	支出総額 5,504,759

単位：千円



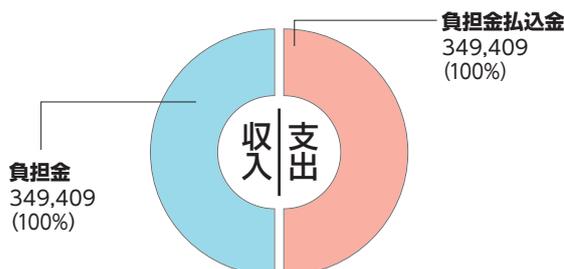
## 経過的長期経理

旧職域相当部分の支払いなどのため公務財源として負担金を徴収し、連合会へ払い込む経理です。

被用者年金一元化により廃止された旧職域相当部分の支払いや既裁定の公務上年金を支払うための経理です。所属所負担金として公務財源率0.099%と追加費用として1.1%で徴収した3億4,900万円程の全額を連合会へ払い込んでおります。

経過的長期経理収支状況	
収入総額 349,409	支出総額 349,409

単位：千円



## 退職等年金預託金管理経理

連合会で管理・運用を行っている年金資金の一部について、連合会から預託されて運用を行っている経理です。

### 【収支の状況】

収入については、運用益として利息及び配当金が3,197万円となりますが、全額支払利息として連合会へ払い込むこととなります。

### 【連合会預託金の状況】

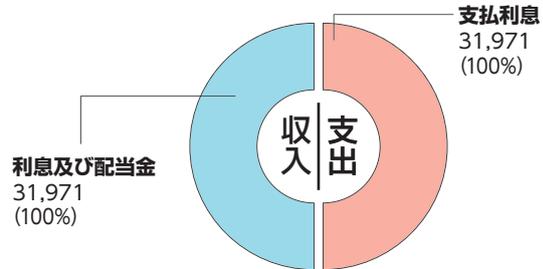
5年度末における連合会預託金は30億8,624万円となっております。この資金は、組合員への貸付金に運用されております。

#### 退職等年金預託金管理経理収支状況

収入総額 31,971

支出総額 31,971

単位：千円



## 経過的長期預託金管理経理

連合会で管理・運用を行っている年金資金の一部について、連合会から預託されて運用を行っている経理です。

### 【収支の状況】

収入については、運用益として利息及び配当金が1,211万円となりますが、全額支払利息として連合会へ払い込んでおります。

### 【連合会預託金の状況】

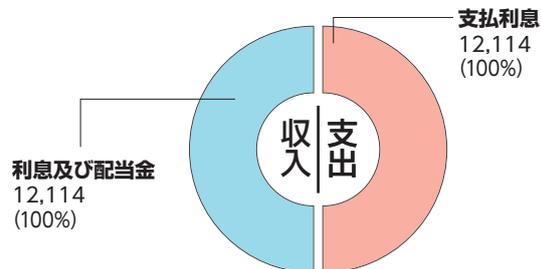
5年度末における連合会預託金は130億2,500万円となっております。この資金は、市町村債の引き受けに運用されております。

#### 経過的長期預託金管理経理収支状況

収入総額 12,114

支出総額 12,114

単位：千円



## 業務経理

短期給付事業、年金給付事業を行うために必要な経費(人件費、事務費等)を賄う経理です。

### 【収支の状況】

収入総額は11億931万円で前年度に対して8,497万円の増加となりました。一方、支出は、前年度に対して3,496万円減少し、支出総額9億5,379万円となりました。

### 【当期利益金】

収支決算を行った結果、1億5,551万円の当期利益金が生じたため、当該利益金は全額積立金として積み立てました。

### 【利益剰余金の状況】

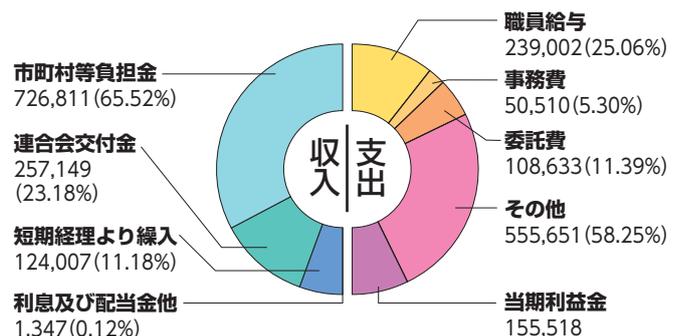
5年度末における積立金は12億850万円となっております。

#### 業務経理収支状況

収入総額 1,109,314

支出総額 953,796

単位：千円



# 保健経理

組合員及び被扶養者の健康増進、病気の予防対策などを行う経理です。

節目の年で定期的に  
人間ドック受検を！

人間ドック等  
22,446人が受検

各種施設の利用助成

## 【収支の状況】

収入総額は、17億5,412万円となり、このうち主な収入は負担金・掛金の16億3,522万円です。主に短期組合員の加入による組合員数の増加に伴い給料総額が増加したことから、前年度に対して1億7,338万円ほどの増収となっております。

一方、支出総額は17億8,675万円となり、主な支出は厚生費の12億2,399万円で、内訳として人間ドック(併診ドックを含む)に7億3,016万円、保養施設等の利用助成として1億1,054万円となっております。

## 【当期損失金】

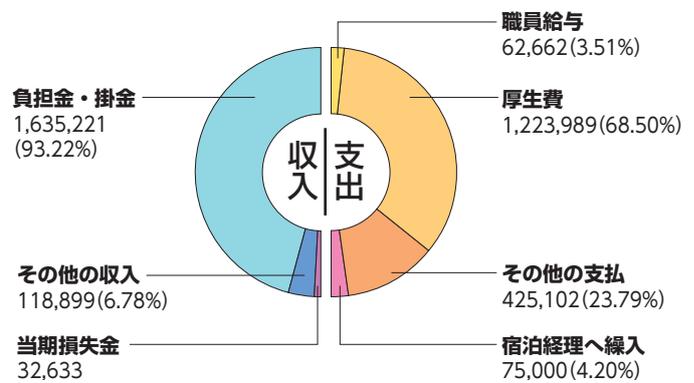
収支決算を行った結果、3,263万円の当期損失金が生じており、この損失金は積立金を取り崩して補てんしました。

## 【利益剰余金の状況】

令和5年度末における積立金は、20億7,283万円となりました。その他欠損金補てん積立金を420万円ほど保有しており、利益剰余金の合計は、20億7,703万円となります。

保健経理収支状況	
収入総額 1,754,120	支出総額 1,786,753

単位：千円



## ◆ 令和5年度実施した主な事業 ◆

人間ドック助成		球技大会及びスポーツ教室		各種助成金等	
実施者数	18,737 人	実施種目	ゴルフ、スキー、親子スキー教室、スノーボード講習会	妊婦保健助成金	13,354 千円
要した費用	569,749 千円			カウンセリング助成	13,056 千円
脳ドック助成				インフルエンザ助成	107,945 千円
実施者数	386 人			歯科健康診査	1,200 千円
要した費用	8,806 千円	要した費用	10,758 千円		
併診ドック助成		保養施設利用助成		特定健康診査	
実施者数	3,323 人	利用補助者数	23,222 人	受診券による受診者等	22,347 人
要した費用	151,605 千円	要した費用	110,543 千円	要した費用	32,270 千円
がん検診助成		レクリエーション施設助成		特定保健指導	
実施者数	31,168 人	利用人員	132,850 人	実施者数	1,803 人
要した費用	79,435 千円	要した費用	122,066 千円	要した費用	55,972 千円

# 宿泊経理

● 草津保養所／草津保養所アルペンローゼを経営する経理です。

## 【利用状況】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが変更となったことを背景に、旅行に対する社会的な自粛ムードが緩和されたことから、宿泊利用者が増加し、利用人数は対前年比4,568人増加の21,954人、利用率は対前年度比プラス12.6%の59.9%となりました。

## 【収支の状況】

収入総額は3億2,632万円となり、このうち主なものは施設収入2億3,642万円です。

一方、営業を行うための諸経費としての支出総額は3億7,152万円となり、この中には固定資産に係る減価償却費として5,304万円が含まれます。

## 【当期損失金】

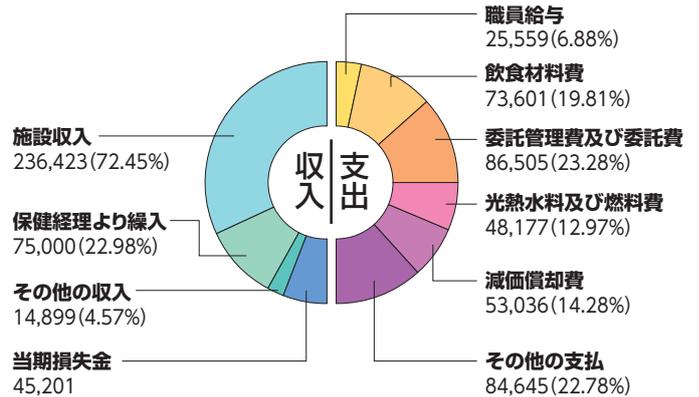
収支決算を行った結果、令和5年度は4,520万円の当期損失金が生じました。この損失金は前年度より繰り越した積立金の一部を取り崩して補てんしました。

## 【利益剰余金の状況】

令和5年度末における改良積立金は1億円、欠損補てん積立金は2億2,339万円、積立金は6億3,776万円となります。

草津経理収支状況	
収入総額 326,322	支出総額 371,523

単位：千円



◆ 会館／さいたま共済会館を運営する経理です。

## 【収支の状況】

収入総額は、1億5,711万円、会議室の利用率は45.4%になりました。

一方、営業を行うための支出総額は1億4,104万円となりました。

## 【当期利益金】

収支決算を行った結果、令和5年度は1,607万円の当期利益金が生じました。この利益金は全額積立金として積み立てました。

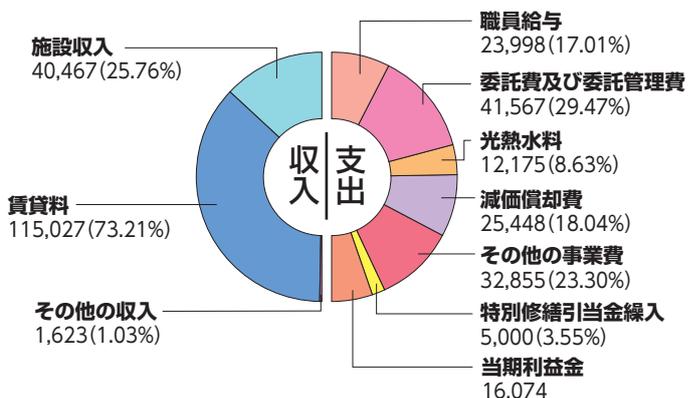
## 【利益剰余金の状況】

令和5年度末における欠損金補てん積立金は8,229万円となり、積立金は3億8,576万円となりました。

その結果、利益剰余金は4億6,805万円となります。

会館経理収支状況	
収入総額 157,117	支出総額 141,043

単位：千円



## 貯金経理

組合員の皆様から預かった貯金をまとめて運用し、その利益の範囲内で、できるだけ高い利息をつけて還元する経理です。

共済預金残高  
4,788億円

支払利息  
1.6%

73億3,539万円を  
利息として還元

### 【収支の状況】

収入総額は、66億9,714万円となります。収入の中心である利息収入が64億9,781万円となりました。

一方、支出総額は、76億293万円となり、支出の中心である組合員の皆様へ支払う支払利息は73億3,539万円となりました。

### 【当期損失金】

収支決算を行った結果、9億578万円の当期損失金が生じました。

この損失金は、積立金の一部を取り崩し補てんいたしました。

### 【資産及び利益剰余金の状況】

5年度末の資産総額は、5,092億6,405万円となりました。この資産の運用状況については11ページをご覧ください。

なお、組合員の皆様からお預かりしている組合員貯金の残高は、5年度末で4,788億4,638万円となっております。

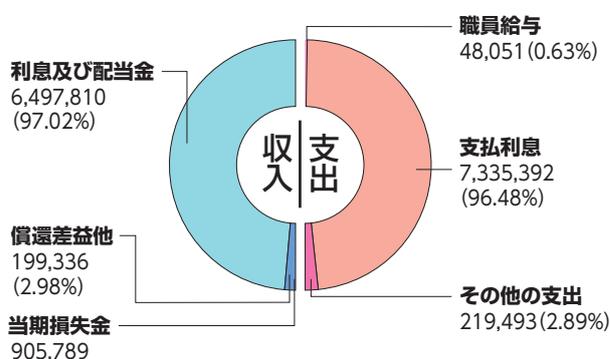
また、5年度末の利益剰余金については、欠損金補てん積立金が227億4,689万円となっております。

### 貯金経理収支状況

収入総額 6,697,147

支出総額 7,602,936

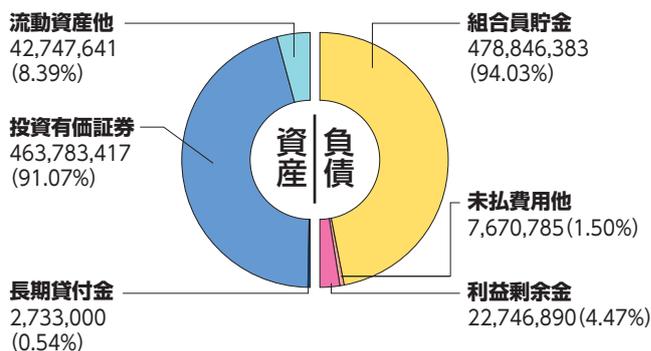
単位：千円



### 貯金経理資産状況

資産総額 509,264,058

単位：千円



# 貸付経理

住宅建築資金、生活必需物資の購入資金、被扶養者等の入学及び非常災害等により、臨時に資金を必要とする場合に貸付を実施する経理です。

## 【収支の状況】

収入総額は、5,475万円となり、前年度に対して315万円減収となっております。

支出総額は、1億3,052万円となり、支出の中心となる支払利息は、3,197万円となっております。

## 【当期損失金】

収支決算の結果、7,576万円の当期損失金が生じました。  
この損失金は、積立金の一部を取り崩し補てんいたしました。

## 【利益剰余金の状況】

令和5年度末における積立金は15億2,557万円となります。  
また、欠損金補てん積立金は法定所要額である2億1,729万円となっており、支障のない財政状況となっております。利益剰余金の合計は17億4,286万円となります。

なお、貸付資金のための退職等年金預託金管理経理からの長期借入金は30億8,100万円となっております。

## 【貸付件数及び貸付総額】

令和5年度末の貸付件数は4,760件、貸付総額は43億4,584万円となっており、前年度末に対し、貸付件数は158件、貸付総額については、2億1,291万円の減少となっております。

なお、貸付金の内訳では住宅貸付が17億4,283万円となっており、貸付総額全体の約40%を占めております。

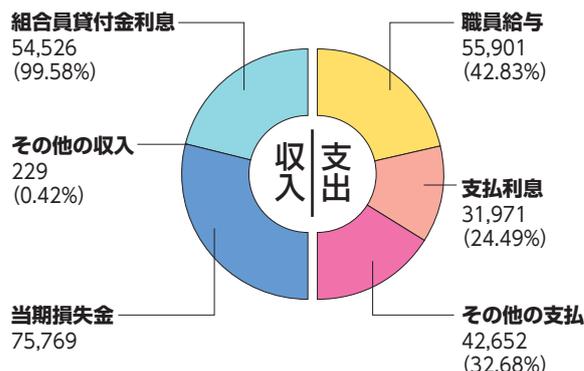
## 【貸付金状況】

令和5年度の貸付金の状況は次のとおりです。

また、5年度中に貸し付けた1件当たりの平均貸付額は、普通貸付約89万円、住宅貸付約439万円、特別貸付約98万円となっております。

貸付経理収支状況	
収入総額 54,755	支出総額 130,524

単位：千円



## ◆ 令和5年度貸付金状況 ◆

事由		件数	金額(千円)	事由		件数	金額(千円)
普通貸付	随時	473	423,550	特別貸付	医療	1	750
	その他	0	0		入学	36	34,450
	小計	473	423,550		修学	149	134,400
住宅貸付	新築	2	14,000		結婚	39	51,650
	増改築	51	178,100		葬祭	3	3,100
	敷地	2	18,900		小計	228	224,350
	建売	5	52,400	介護住宅	新築	0	0
	その他	0	0		増改築	2	5,900
	小計	60	263,400		建売	0	0
災害貸付	新規	0	0		その他	0	0
	再貸付	0	0	小計	2	5,900	
	小計	0	0	合計	763	917,200	

## 物資経理

自動車購入資金の融資を中心とした、生活必需品の供給を目的とする経理です。

### ● 自動車購入資金融資総額 / 28億2,500万円(1億3,200万円減少)

#### 【収支の状況】

収入総額は、6,248万円となり、前年度に対して440万円減少となりました。

一方、支出総額は、5,635万円となり、支出の中心である支払利息は、5,019万円となっています。

#### 【当期利益金】

収支決算の結果、613万円の当期利益金が生じました。  
この利益金は、欠損金補てん積立金へ積み立てました。

#### 【利益剰余金の状況】

5年度末における欠損金補てん積立金は、1億3,303万円となりました。

なお、組合員の皆様に融資している融資金は、28億2,585万円となっています。

#### 物資経理収支状況

収入総額 62,488

支出総額 56,355

単位：千円

